

慶應義塾大学出版会

イチ押し

2022年11月新刊のご案内

現代思想 ご担当者さま

# 古きもののモダニズム (仮)

## ポスト資本主義の可能性としての日本

モリス・バーマン (文明批評家) [著] /

込山宏太 (青山学院大学文学部英米文学科助手) [訳]

A5 判並製 / 400 頁 税込予価 4,180 円 ISBN978-4-7664-2856-8 C0010

👉 ココに注目!

- ・日本近代以降の経験を通じ、古きものの伝統と新しい文化の危うい融合を考える。
- ・現代アメリカの異端の思想家バーマン。彼がグローバル資本主義を越える可能性を日本に見出したのはなぜか?

禅、民芸、京都学派、小説、アート、オタクカルチャーなど、広範囲にわたる文化事象を参照しながら、日本人の精神史をアメリカとの接触の中でどう変容してきたかをたどり、アメリカ型資本主義の限界を越える可能性を見出す。『デカルトからベイトソンへ』の思想家が贈る骨太の日本人論。

**対象** 現代思想や日本文化論に関心のある一般読者

**類書** モリス・バーマン『デカルトからベイトソンへ 世界の再魔術化』(文藝春秋)

### 【営業部からのおすすめポイント】

モリス・バーマンによる著作の邦訳は『デカルトからベイトソンへ』が知られていますが、そのシンプルで力強い近代科学糾弾の筆致により多くの読者に鮮烈な印象を残しました。本書では「禅」から「オタクカルチャー」まで、長い時間軸で豊富な文化事象を参照しつつ、東洋と西洋、近代と伝統とのあいだで揺れ動く日本人の精神性に「光」と「影」の両方を見出していきます。著者のバーマンは日本での取材を実際に行い、膨大な日本論を参照しているため、説得力のある密度の高い内容に仕上がっています。本書に関連したミニコーナーのご提案も予定しております(来月ご案内予定)ので、ぜひ積極的なご展開をよろしくお願いいたします。(福本)

👉 主要目次、注文書を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

## 【目次】

### 序 別の仕方で考えること

#### 第1章：日本的なるもの（1）——禅、工芸、永遠の現在

禅や工芸が体現する伝統的価値観／「無常」や「あはれ」を重視する伝統的世界観・時間感覚（刹那主義）／古きもののモダニズム＝現在に生きる伝統、あるいは伝統と近代、東洋と西洋の緊張が生む創造性／日本的なるものの欠点（非倫理性、状況主義、順応主義、根本的変化の不可能性＝執拗低音（バッソ・オスティナート）、非枢軸性）

#### 第2章：日本的なるもの（2）——「甘え」、集团的構造、階層秩序

社会（心理）学的日米比較／「甘え」とは何か／「甘え」を肯定する日本と抑圧するアメリカ（集団主義と個人主義）／主客一体と主客分離／タテ社会の構造／日本的心性および社会構造のメリットと弊害／日本社会の構造的同一性と「無責任の体系」（太平洋戦争から原発事故まで）／日本的なるものの欠点再び／アメリカ型文化の特殊性

#### 第3章：明治維新とその余波——近代化とアイデンティティ・クライシス

江戸時代前史／江戸時代の繁栄／明治維新に先立つ徳川体制の問題点／ペリーの来航とアメリカ的精神／ナショナリズムの勃興／近代化とアイデンティティ・クライシス／上からの革命としての明治維新／産業化、近代化の急速な進展／帝国主義、拡大主義への道（アイヌ弾圧から太平洋戦争まで）／アイデンティティ・クライシスに対する西洋モデルの無効性

#### 第4章：戦争と占領——日米の絶え間なき葛藤

西洋へのルサンチマン／1920年代以降のナショナリズムの高まり／真珠湾にいたる歴史的経緯／日米開戦の要因は何か？／報復としての真珠湾攻撃／アジアの覇権争い／太平洋戦争における天皇の役割／原爆投下とマンハッタン計画／アメリカ宗教としてのテクノロジー／日米の精神構造からの説明／東京裁判とその問題点／人道に対する罪のアメリカへの不適用／侵略戦争か自衛戦争か／中韓問題の先送り／占領下の日本／アメリカ型民主主義の押し付け／強まる対米依存／アイデンティティのさらなる混乱

#### 第5章：京都学派——空（虚）と対峙する哲学

虚無と空（アメリカの空虚と日本の空虚）／ケノーシス／自力と他力／空虚とアイデンティティ／京都学派の成り立ち／京都学派の知識社会学的分析／西田幾多郎（虚無から空へ、純粹経験、絶対無、場所的論理、禅の倫理）／西田哲学の無倫理性／田辺元（再生のための懺悔、禅 vs 浄土真宗（西田との対立）、永遠の贖罪）／西谷啓治（近代化による虚無とアノミー）／西谷哲学の具体性の欠如／京都学派の危うさ（戦争関与など）／日本を写す鏡としての京都学派

#### 第6章：「アメリカ」化する日本——高度経済成長と消費主義の時代の文化

資本主義と「豊かさのなかの欠乏」／高度経済成長と消費主義／敗戦の空虚を満たすイメージとしての「アメリカ」受容／ディズニー化（幼年期の理想化と消費主義の結託）／成熟恐怖とカワイイ文化／転換点としての70年代（大阪万博、三島、川端の自殺）／「アメリカ」と伝統的日本の分裂症的共存／『なんとなく、クリスタル』のアイロニー／虚無をモノで満たす（消費主義）／虚無へと飛びこむ（自殺）／現代日本の精神的ひずみの反映（ひきこもり、非行、過労死、精神疾患、援助交際、異様な性生活、オウム真理教）／オタクと工芸の伝統／抵抗者としてのオタク

#### 第7章：現代的な江戸時代？——ポスト資本主義モデルとしての日本

アメリカ型資本主義の拡張主義から日本モデルへのシフト／破滅へと向かう資本主義／環境問題（資源の有限性）／現代日本が抱える経済・社会問題／政権交代（2009年）と変化の兆し／ネオリベリズムの最後のあがき／「失われた20年」はそれほどひどくなかった？／ポスト成長経済の先鋭としての日本／代替エネルギー、通貨、地政学／オルタナティブな生き方（物質的な節制、精神的充実）／アメリカの困難、日本の優位／持続可能社会モデルとしての江戸時代（リサイクル、教育、資源の最適利用）／日本的なるものと「現代的な江戸時代」の可能性（幾つかの例）／いくつかの懸念（古びた成長モデルの延命、アルカイック・モダニズムの落とし穴、ナショナリズム）／転換の契機としてのひきこもり、フリーター、おたく／ポスト資本主義モデルとしての日本

#### 補遺

英語の用語法における問題／禅のリアリティ／禅、倫理、「枢軸時代」／オタク文化インタビュー



ご注文は FAX で！ 03 - 3451 - 3124



| 新刊委託 | 番線 | ご注文部数 | 発行所：慶應義塾大学出版会                                                                                  | 税込予価    | 部数    |
|------|----|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------|
|      |    |       | モリス・バーマン 著／込山宏太 訳<br><b>古きもののモダニズム（仮）</b><br>—ポスト資本主義の可能性としての日本<br>ISBN978-4-7664-2856-8 C0010 | 4,180 円 | ★★★★★ |